

大藏省考課狀

貳
止

記録寮

諸課報告部
七年自五月十五日
至十二月廿九日

第一類	二七七冊	十八架	一二四兩
-----	------	-----	------

国立公文書館

ナ
田
2 A
35-1
① 1160

大藏省考課狀目次

記録寮

諸課報告ノ部

編纂課

自十月十日 至十月二十九日

第五十二號

出納金穀ノ成規ヲ全載スル書籍ヲ編修スルノ稟候

第五十三號

正院命令及各寮課回議原書等ハ年月日番号ヲ記載スルノ申稟

考課狀

大藏省

第五十四號

用度課ヨリ用度物品ヲ交授スルノ申白

第五十五號

諸回議類未完結ヲ四季ニ區分シ裝釘スルノ

申稟

第五十六號

考課狀改正掛ヨリ簿書課庫中ノ原書借閱ノ

稟候

第五十七號

各課ノ人負ヲ定限スルニ申

第五十八號

未完ノ文書ヲ編修スルノ申稟

第五十九號

舊幕府古記類ヲ以テ簿書課ニ交付スル稟候

第六十號

古雜書類ヲ彙分スルノ申白

第六十一號

非常ノ際文書類搬運ノ地方ヲ定ムルノ申稟

第六十二號

既往原書ヲ収集スルノ上陳



第六十三號

歲暮停衙後各寮課へ副本ヲ送致スルノ稟候

第六十四號

裝釘工場ヲ警戒スルノ稟

第六十五號

第四科ヲ考課狀改正掛へ併合ノ議

第六十六號

簿書課へ送付スル編纂裝釘簿冊并回議原書

副本ヲ製シ本省及諸寮へ送付スル件數

簿書課

第六十七號

倉監増員并心得規則ヲ設クルノ稟問

第六十八號

簿書取扱假規則ヲ設クルノ稟問

第六十九號

省中官員轉免出張并死去等ノ報告ヲ廢止ス

ルノ稟問

第七十號

常備書籍取扱假規則附加及購收順次各寮局

へ達旨ノ稟問



第七十一號

書庫凡例并庫内位置查合簿様式ヲ制定スル
ノ稟候

第七十二號

本課ノ事務ヲ三科ニ分ツノ達旨

第七十三號

紙幣頭ヨリ彫刻刷版諸術書ヲ回付スルノ商
議

第七十四號

書庫閉鎖ノ定刻ヲ遞伸スルノ稟問

第七十五號

及譯局ヨリ洋籍ヲ交付スルノ議

第七十六號

ホドソン、マルコム社中ヨリ洋書送付ノ件
立嘉度へ回答

第七十七號

簿書取扱假規則第十五款改正并増補ノ稟問

第七十八號

洋籍ヲ安置スルノ稟候

第七十九號

統計寮ヨリ洋籍ヲ交付スルノ議

第八十號

紙幣寮ヨリ洋籍ノ交付ヲ乞フノ議

第八十一號

史官ヨリ東京府消防費金減額布令ノ副本調査ノ為メ返却スヘキノ商議

第八十二號

諸領收書共証書類西ノ内紙ヲ使用スルノ稟候

第八十三號

勸業寮ヨリ寫字器減ノ回致ヲ乞フノ議

第八十四號

統計寮官負謄寫スル傳票原書貸收規則ヲ設クルノ稟問

第八十五號

簿書搜索假規程ヲ設クルノ稟問

第八十六號

紙幣寮ヨリ洋籍ヲ要スルノ商議

第八十七號

本課事務分掌順叙ノ節目ヲ設立スルノ稟問



第八十八號

蕃地事務局ヨリ本省藏置ノ洋書目送付ノ件
回答

第八十九號

正院其他官衙ヨリ本省大少丞へ送致スル公
文ヲ霽置スルノ稟候

第九十號

編纂裝釘ノ簿冊簽記ヲ設クルノ稟候

第九十一號

編纂簿書兩課ニ於テ編纂未調ノ書類ヲ保管

スルノ責任ヲ區分スルノ稟候

第九十二號

各寮藏置ノ回議原書書目ヲ送附セシムルノ
稟候

第九十三號

編纂裝釘ノ簿冊藏置段套ノ位地共查合ノ簿
式ヲ定ムルノ稟白

第九十四號

本寮倉庫非常警戒ノ達

第九十五號



地理寮ヨリ小倉縣下地所賣下書類ノ件回答
第九十六號

本課中分科更正ノ件上候

第九十七號

刊行業務順叙ノ件上候

第九十八號

雜書中和洋西文緊要原書編纂取捨ノ上候

第九十九號

回議原書目回致ニ係ル各寮照會

第一百號

理財課議案掛ヨリ鎮魂祭調進物品代價濟否
ノ回答

第一百一號

各寮留存ノ原書ヲ檢討シ其副本ヲ製シ原書
ニ交換シ之ヲ本寮ニ收入スル稟白

第一百二號

回議原書及諸簿冊領收ノ數并新規刊行舊版
印刷及發賣負數

雜務課

第一百三號



寮中諸官員病氣及轉免等ノ節事務引継規則ヲ設クルノ議

第四百號

寮中ノ諸器具負數類別以テ紛雜ヲ改整スルノ申稟

第四百五號

諸器具ノ新調ト及々沿例調製ト區別スルノ稟問

第四百六號

寮中賜休ノ約束上申書

第四百七號

東洋銀行ヨリ兌換金額交付ニ係ルノ上候

記録寮考課狀

諸課報告ノ部

編纂課

自十月十日 至十月十九日

第五十二號

本省金穀出納ノ順叙ハ左提右掌迂餘曲折ニ涉
 ルモノアリ既ニ六年十二月中金穀出納順序計
 算簿書体裁ノ公布アリト雖モ專ラ各廳出納ノ
 成規ヲ表記スルモノニシテ本省各主任ニ於テ
 案ヲ立ルヨリ検査傳票記録出納ノ各衙門ヲ經
 テ始テ出納ノ事ニ至ルノ細例通則及ヒ支出收

入ノ事類ニ依テ各自殊別スルノ區制ニ至テハ
當時達令ヲ存スルノミニシテ未夕首尾完全ノ
法典ヲ編集スルモノアラス故ニ或ハ順序ヲ干
越シ却回或ハ刑正時ニ臨テ煩冗ヲ増スモノ亦
少ナカラス加之現今編纂課ニ送了ノ原書ニ於
テモ往々加書刪載スルモノアリ是レ亦必ス主
任ノ調理届ラサルニ非ス畢竟出納ノ順叙曲折
ニ涉リ成規縝密ナルヨリ釀ス所ノ弊害ナリト
言ハサルヲ得ス請フ編纂課ニ於テ諸寮課ヨリ
收受スル原本ヲ源據トシ尚ホ各主任ニ照會ヲ

遂ケ本省出納ニ係ル審密ノ條規ヲ編集シ金穀
收支ノ成例ヲシテ一覽明瞭タラシムル一部ノ
全書ヲ編成セント
如ク裁可アリ
十月十日

第五十三號

本寮受領ノ正院命令及ヒ各寮課回議原書等ハ
後來番号ヲ記載スル片紙ヲ貼スルハ素ト一時
照會ノ為メニスルノミ然ルニ原書ノ受領日一
日ヨリ多ク事類ノ搜閱亦隨テ數ナリ是ニ於テ
カ嚮者ノ番号ハ今後ノ必需缺ク可ラサル者夕

リ然リ而シテ糊貼紙ヲ以テ多クノ年月ヲ経ハ
 剥脱ノ患多ク随テ搜索ノ便ヲ失スルノ恐レア
 ルノミナラス其初メ受領ヨリ装釘ニ付スルニ
 至ルノ際轉輾入手ヲ渉ル殊ニ數回是亦顧慮ス
 ヘキ者ナリ因テ自今命令及ヒ回議原書トモ欄
 外ノ餘白ハ年月日番号記載ノ印ヲ捺シ直チニ
 之ニ嵌書セント之ヲ寮頭ニ申稟ス乃チ之ヲ許
 可ス
十月三
 十日

第五十四號

用度課ニ於テ調度物品ヲ交授スルニ係ル回議

ハ固ヨリ之ヲ悠久ニ照合スヘキ者ニ非サレハ
 全ク一時ノ文書ニ擬シ尋常回議ノ如ク本寮ニ
 受領シ副本ヲ送付スルノ煩ヲ解キ毎年十一月
 中ニ蒐輯シ之ヲ本寮ニ受ケ大蔵省支出ノ部ニ
 編入シテ可ナランヤ因テ両課ノ照會ヲ了シ之
 ヲ卿ニ申白ス乃チ之ヲ裁可ス
十月三
 十日

第五十五號

諸回議類ノ編纂ハ事ノ完結未完結ヲ區分シ簿
 冊装釘規程等総テ條例ニ照シ完結ノ文書ハ直
 チニ之ヲ装釘ニ付シ未完結ニ属スル者ハ一時



假綴ニ束子逐次完結ニ及テ装釘スルノ成規ナ
 リ然ルニ未完結ノ者数多ニシテ就中諸縣稟候
 ノ部ノ如キ追テ可申出或ハ猶取調可申出等ノ
 指令アリテ未完結ニ属スルモ以テ數月ヲ閱ス
 ト雖モ調理申報セズ甚シキハ二周年ノ久シキ
 ニ彌ル者之レアリ若シ此ノ如キノ類漸次堆積
 セハ恐ラクハ調査ノ煩ヲ招ン殊ニ假束ノ書類
 愈多ク之ヲ閱スル數々ニテ累月ニ至レハ附箋
 添冊等散佚ノ憂ニ尠シトセズ是ニ由テ自今甲
 季ニ區分シ一月ヨリ三月ニ至ルノ未完結原書

ハ其年六月ヲ限リ四月ヨリ六月ハ九月ヲ限リ
 装釘セシムヲ欲ス竝モ照會往復等ノ瞭然タル
 未完結ニシテ事理ノ明ラカナラサル者ハ假令
 年ヲ累ヌルト雖モ完結ヲ要スヘキハ固ヨリ十
 リ自餘事類ニ從テ之ヲ適宜斟酌シ編纂ヲ要セ
 ント之ヲ寮頭ニ申禀ス乃チ之ヲ裁可ス十一月
 第五十六號
 考課狀改正掛ニ於テ報告書改正ノ際簿書課庫
 中保存原書一時參考或ハ謄寫ノ為メ借閱毎ニ
 程規ノ順序ヲ履ミ之ヲ受ルハ煩冗ニ堪ヘスシ

テ便ヲ失スルニ庶幾シ故ニ出納概則ヲ設ク曰
 先ツ庫中公文ヲ出納スル片出納簿一本ヲ製シ
 冊數月日ヲ記載シ本掛主任捺印シテ以テ簿書
 課主任ノ檢印ヲ得之ヲ領受ス又退省ノ時ハ簿
 冊ヲ還附シ別ニ簿書課確受ノ印ヲ捺シ而シテ
 前キノ兩印ヲ消抹スルヲ則トス蓋シ連日同冊
 ヲ借閱スル丁アムモ出納毎子ニ是ニ準ス此簡
 法ヲ以テ處分セント稟候セリ 十一月三十日
 第五十七號
 各衙人負ノ多寡ハ其事務ノ繁簡廣狹ニ由テ定

ムルハ言ヲ俟タス抑本寮提掌ノ事務ハ各課小
 異同アリト雖モ率子他ノ回議ヲ考案スル者ニ
 異ナリ各負課スル所ノ事業限リアリ舉ル所ノ
 成績モ亦其超軼アルヲ得ス是ニ由テ新夕ニ事
 項ヲ興スノ外第一照查課ニ四十二人第二照查
 課ニ十五人編纂課ハ第一科及ニ第二科ヲ合シ
 テ百四十九人簿書課ニ三十二人雜務課ニ十二
 人各課合計二百五十人ノ概算定員ヲ得ルニ非
 レハ其當務ヲ措辦スル能ハス然ルニ從前減員
 多ク就中編纂課淨寫員ノ如キハ往々定員ヲ減



シ蕃地事務局其外ノ派出スル所トナル者数人
 アリ畢竟一時適任ノ人物ナキノ致ス所ニシテ
 止ムヲ得スト雖モ本務之カ為メニ淹滞歟シトセ
 ス自今前文記スル所ノ如ク人負ヲ豫定セシテ
 欲ス本寮素ヨリ其事務ノ職工ニ等シキ者多キ
 ヲ以テ新選ノ負多ケレハ其事務常ニ舉ルル少
 ナク踈磨日ヲ度リ其功課其習慣ト與ニ進ムニ
 至リテハ定規ノ功課亦豫算ノ外ニ出テ其偉績
 ヲ取ルル今ヨリ歲月ヲ経ルニ隨ヒ亦以テ期望
 スヘキナレハ本寮ハ暫ク其人負ヲ交換變替セ

ス專ラ擔當現負ヲ一定シ今各課事務ノ着手人
 員ノ定限等調査シテ之ヲ呈申ス乃チ候スル如
 ク裁令アリ
十一月
 失日

第五十八號

既往編纂諸文書ノ内首尾不齊本紙ヲ存シテ別
 牒ヲ缺キ別箇ヲ餘シテ副証ヲ失スル等總テ完
 結ヲ闕ク者ハ必ス是ヲ審考周索シテ到底其完
 結ヲ期スルヲ則トスル成規ハ已ニ載セテ條例
 ニ詳ナリ抑改正ノ初メニ當テヤ固ヨリ編纂順
 序一切全キヲ求ムルノ目途ヲ確定シ之ニ憑據

シ今日ニ至ル然ルニ各寮文書支離滅裂縦ヒ一
 時搜索ノ力ヲ盡シテ之ヲ完結セント欲スルモ
 勢ヒ能ハサル者往々之レアリ蓋シ改正以前記
 録編次ノ方法未夕定マラス鹵莽苟且ノ宿弊積
 テ此痼疾ヲ釀成セル者ニシテ今日遽カニ搜索
 ヲ徴シ難キモ亦不得已ノ勢ヒナレハ此不齊ノ
 文書必ス其完結ヲ期シ旁搜ノ勞ヲ費ス時ハ譬
 ハ一月ヨリ三月ニ迄リ某部類已ニ編纂ニ就ク
 ノ文書六十件然ルニ其間一ノ未完文書アルハ
 之カ為メニ五十九件ノ就纂ヲ束閣シ全箇ヲ舉

ケテ空ク未完書冊ニ属セサルヲ得ス推テ之ヲ
 遡考スレハ比々皆然ヲサルヲ得ス是ニ於テ一
 時搜索ヲ徴シ難キ文書ハ追補後訂ノ方法ヲ設
 ケ假リニ之ヲ編纂シ其未完ノ件名簿ヲ製シテ
 年ヲ限リ改正以前其編纂ノ就ルニ隨ヒ一年毎
 ニ遡リ其徹底ニ搜着シ得ル者ハ最前編纂ノ簿
 冊ニ合符ヲ証シ捷覽ヲ要セン丁ヲ欲ス然ラサ
 レハ前件ノ弊ニ掣肘セラレ輒ク之ヲ收拾スル
 ノ期アラサルヘシ因テ之ヲ寮頭ニ申稟ス乃チ
 之ヲ可ス

五月
 十二月

第五十九號

舊幕府金座掛ニ於テ存録セシ記録類若干卷今
 回之ヲ審査調理シ件名目次ヲ製スルヲ以テ紙
 幣寮鈔史編纂參考ノ用ニ供スヘクモノアリ依
 テ之ヲ同寮ニ照會スルニ即チ其編纂主任ノ者
 ヲシテ本寮ニ蒞マシメ之ヲ展閲シ引用ニ供ス
 ヘキ書類逐次參考セシト欲ス然ルニ即今他方
 ヲリ借入ノ書類談官漸ク調査ノ半ニ及ハリ之
 ヲ閱了シ後チ借覽スルヲ乞フト是ニ由テ一般
 原書ト同視シ簿書課へ送付シ文庫ニ蔵シテ可

ナランヤ且ツ毎冊中要牒冗箋叢綴ノ文書尠ナ
 カラサルヲ以テ編次體裁極メテ不齊ナリ然リ
 ト雖モ今日ニ至リ俄ニ之ヲ刪正スレハ當ニ其
 煩ヲ招クノミナラス却テ昔日舊政府記録ノ体
 面ヲ失ヒ時世ノ徵考ヲ缺クニ至ランカ因テ一
 切舊時ノ輯集ヲ存シ唯其裝釘ヲ修粧シテ之ヲ
 交付納庫セント之ヲ寮頭ニ申稟ス乃チ之ヲ可

ス 九月 二日

第六十號

嚮者申稟スル故舊雜書類ヲ調査了ス然ルニ首

尾不齊ナル單簡片紙及ヒ新聞紙或ハ朽腐ノ版
 本等ヲ除キ其参考ニ供スルニ足ルハキト認
 ム文書即チ已午以降諸規則草案ノ類概略部類
 ヲ輯集シテ之ヲ叢綴整頓シ其件名ヲ詳記シテ
 姑ク之ヲ編纂課ニ留存シ既往編纂ノ參用ニ供
 セント目次四十一号ヲ添附シテ之ヲ寮頭ニ稟
 白セリ
 十二月十七日

第六十一號

本課ノ務ハ專ラ至緊至要ノ公書類ヲ管掌スル
 ヲ以テ豫メ非常ノ備置ナカル可ラサルハ載セ

テ條例ニ詳ナリ然リ而シテ方今文書ノ堆積日
 一日ヨリ多シト雖モ舉ケテ之ヲ收藏スルノ倉
 庫ナシ殊ニ現時移轉スルノ衙署ハ其門外郎ニ
 近クシテ顧慮常ニ多キヲ以テ尚ホ一層注意セ
 サル可ラス是ニ由テ萬非常舞馬ノ難ニ際セハ
 舊本城大手前及ヒ平川門外ノ兩所ヲ以テ自今
 避災ノ地ト假定シ其公書ヲ監護セント本課ヘ
 ノ達令案ヲ具シテ之ヲ寮頭ニ申稟ス乃チ之ヲ
 可ス
 十二月十七日
 第六十二號

各寮留存ノ既往原書蒐輯ノ事務ニ就クテ以テ
 既ニ寫字生ヲ増置スル等ノ件々遂ニ決裁ヲ得
 テ漸次其順序ヲ以テ之ヲ施為スルノ目筈ナリ
 ト雖モ抑文書ノ編纂タル顛末不整ノ者アラハ
 悉皆ノ書類ニ就テ之ヲ參互考訂シ其首尾ヲレ
 テ詳明ナラシメサルヲ得ス然ルニ各寮ノ原書
 ヲ舉ケテ之ヲ本寮ニ收ムルニ非レハ搜索考訂
 モ亦之ヲ盡スヲ得ス從來既往文書ノ編纂ハ本
 年五月ヨリ昨明治六年ニ溯リ原書中混淆錯雜
 ノモノハ姑ク之ヲ束閣レ先ツ其完結スルノミ

ヲ撰ミ逐次類集之ヲ裝釘スト雖モ尚ホ今日ニ
 シテ之ヲ思フニ既往文書ノ編纂ハ少シク遅延
 スルモ寧ロ原書ヲ收入スルヲ最モ急務トス依
 テ自今編纂第一科ヲ閉停シ其人員ヲ簿書課ニ
 移シ従前ノ編纂官ヲ校正官ニ充テント欲ス最
 モ其謄寫卒業ヲ告ケ省中ノ簿書一切之ヲ本寮
 ニ收集スルノ日ニ至テハ謄寫校正ノ人負ハ其
 編纂ノ任ニ適フ者ヲ精撰シ餘ハ悉ク之ヲ罷メ
 精撰ノ人負ヲ再ニ編纂課ニ移シ既往ノ編纂ニ
 従事セシメハ參互考訂首尾搜索等モ大ニ其便

宜ヲ得隨テ其編纂速ニ成績ヲ奏スヘキナリ依
テ之ヲ設施センコトヲ欲スト簿書課ト共ニ之ヲ
卿ニ上申ス乃チ之ヲ決可シ簿書課ノ中刊行及
ヒ副本ノ二掛ヲ建置ス十二月十七日

第六十三號

本省本月二十九日ヲ以テ衙門ヲ停鎖スルノ令
ハ已ニ前日ニ在リト雖モ本課ノ如キハ即今各
寮課ヨリ送付ノ文書尚蝟集シ既ニ二十六日ヨ
リ下午四時ヲ以テ退寮シ事務ヲ督勵スト雖モ
及ブナシ請フ三十一日ヲ期シ措辦センコトヲ欲

ス依テ逐次製了ノ副本ハ直チニ之ヲ各主任ニ
送致センヲ要シ各寮課ヘノ照會案ヲ具シテ之
ヲ寮頭ニ稟申ス乃チ之ヲ可ス十二月二十九日

第六十四號

簿冊裝釘職工ノ輩之ヲ本課ノ迹傍ニ移シ自今
之ニ付スル工事ハ常ニ之ヲ戒嚴スルノ負ヲ定
メ休暇ハ宿直ノ負工場ヲ巡視シ尚ホ裝釘ノ所
業ニヨリ原書ノ表裝等翌日ハ涉リ乾燥ヲ要ス
ル者ハ最モ拾收ニ力ヲ致サンコトヲ期ス因テ之
ヲ寮頭ニ申白ス乃チ之ヲ可ス十二月十日

第六十五號

考課狀改正掛ヨリ寮頭ニ白シテ曰ク當掛業務ノ体タル曩日稟候了スルヲ以テ漸次定規ヲ履行スルノ際寮中各課ノ區分改正ニ會シ編纂課第四科ハ當掛ニ屬シ其名稱ヲ廢シテ可ナラント乃チ議スル所ノ如ク決了セリ十二月十日

第六十六號

本年九月ヨリ十二月ニ迄リ編纂了リ裝釘セル簿冊漸次簿書課へ送付スル所ノ部類冊數左ノ如シ

一地租ノ部	三十冊
一地券稅ノ部	七冊
一舊藩貸附返納ノ部	十四冊
一雜稅ノ部	十一冊
一家祿ノ部	十二冊
一賞典家祿米奉還ノ部	二冊
一社寺半租ノ部	四冊
一内國債ノ部	二十一冊
一諸縣ノ部	十三冊
一 <small>壬申以前</small> 費用ノ部	十冊
<small>係ル</small>	

一省中雜件ノ部 八冊

一一般臨時費ノ部 三冊

一院省公布及規則ノ部 三冊

合計一百三十八冊

本年自五月至十二月回議原書副本ヲ作り本省及ヒ諸寮へ送付スル件數左ニ録ス

一本省 二千九百五十件

一造幣寮 二百三十七件

一租稅寮 五千七百四十五件

一紙幣寮 一千〇十六件

一出納寮 四百三十九件

一統計寮 一百五十五件

一検査寮 二千五百十八件

一國債寮 四千一百七十七件

一記録寮 五十一件

合計一萬七千二百八十八件

簿書課 五月十五日ヨリ十二月三日ニ至ル

第六十七號

這回業務條例改正ニ由リ倉庫ノ警査ヲ嚴ニスルヲ緊要トス依テ倉監ヲ増員シ其規則ヲ設立



セレト察頭ニ稟候ス乃チ之ヲ決可ス五月十日

第六十八號

今回本寮條例改定ニ由リ渾テ條例正條ニ準據スヘキハ論ヲ族タス然ルニ本課ノ所掌ニ至テハ倉庫ノ體裁及ヒ簿冊編纂ノ功業未タ整然シラス本條ニ依準シ難キ件多カラストセス依テ倉庫并簿冊編纂ノ雙件完備ニ至ルマテ該課ニ於テ假ニ簿書提掌ノ規則ヲ設ケント規程十八款ヲ別紙ニ具シテ卿ニ稟候ス乃チ允准裁定アリ

五月十七日

第六十九號

曾テ西洋書籍ヲ本寮ニ於テ保管スヘキノ命アリシニヨリ他ハ貸與セル書類徵收ノ便ヲ謀リ省中官員轉任免職他方出張及ヒ死去セルヲ其時々當寮へ報告アラシトシ去士申九月中許可ヲ得タリ爾來職務課ヨリ日次之ヲ通知ス然ルニ這回諸書籍貸與ノ方法更ニ批定ノ舉アルヲ以テ前件ノ處務ヲ廢停シ職務課へ達ヲ請フト之ヲ卿ニ稟白ス乃チ允裁アリ五月三十日

第七十號

本省諸寮局常備書籍置順叙ノ命アルヲ以テ
曩ニ裁決セル簿書取扱假規則中常備書取扱規
程三款ヲ附加シ且諸寮局常備書類從來用度課
或ハ當寮ニ於テ購求送付セル則テ改正シ後來
諸寮局所要ノ書籍ハ直ニ用度課ハ照管購收シ
其寮局ノ所有ト為シテ保存シ其購入セル書名
及ヒ冊數共毎月末詳記シテ之ヲ本寮ニ報告シ
調訂ノ用ニ供シ從來既ニ收藏セルモ亦此ニ準
シ遺脱ナク記載シテ來ル七月十五日ヲ期シ當
寮ハ照管スヘシ且洋籍ハ生徒講習本英字書類

ヲ除キ悉皆本寮ニ於テ保存監護シ所要ノ時ニ
貸與スヘシト諸寮局ハ達ヲ乞フト卿ニ稟申ス
乃チ裁令ヲ得タリ

六月
二日

第七十一號

編纂裝釘ヲ遂ケサル既往簿冊漸次本課ハ收入
セルヲ以テ倉庫未タ營築セサルノ間假ニ書庫
允例及ヒ簿書駢列ノ位地查合簿ノ様式ヲ設為
セント規程ヲ具シテ寮頭ニ稟請ス乃チ之ヲ批

可ス

六月
二日

第七十二號

考課狀

大藏省

本課ノ事務タルヤ本未錯綜首尾連環シテ專任
 主務ヲ分別スハカラサルカ如シト雖モ處理ノ
 際自ラ次第順序ナキニ非ス因テ姑ク之ヲ三科
 ニ分チ以テ專主スル所ヲ知ラシメ繁劇ヲ治理
 スルニ便ニセントス宜ク甲乙相ヒ扶持シ彼是
 共ニ援應シテ以テ任責ヲ保全スヘシト三科分
 掌ノ順次ヲ掲ケ之ヲ寮頭ヨリ達令セリ六月二日
 第七十三號
 紙幣頭ヨリ向キニ合議ヲ以テ彫刻刷版諸術書
 翻譯ノ事ヲ建白シ既ニ翻譯局へ達令アリクシ

然ルニ未夕辞書回致アラス故ヲ以テ之ニ着手
 スル能ハスト同局ヨリ申請セリ速ニ回付ヲ乞
 フト商議アリ即チ來議ヲ了承シ明日辞書ヲ交
 授セリ六月三日
 第七十四號
 改正各課處務條例第七十四款ニ倉庫ハ必ス午
 後第三時ニ閉闔スルヲ則ト為スノ明載アリ然
 ルニ編纂課ニ於テ三時ノ擊柝ヲ得テ後始テ簿
 冊ヲ庫入スルヲ以テ倉庫ノ閉闔隨テ遅延セリ
 ルヲ得ス因テ書庫鎖鑰ノ定限ヲ徐遅スルノ程



規ヲ假規則中ニ挿加セント寮頭ニ稟申ス乃チ
之ヲ可ス 五月六日

第七十五號

及譯局ヨリ別記書籍ハ別記譯業及生徒必需ノ
書ナレハ早急回付ヲ乞フト商議アリ依テ答議
ヲ立案ス生徒用書籍ハ來議ニ應シ難シト雖モ
庫中恒常蔵置アルモノハ命ノ如クスヘシ其他
ノ書籍ハ現今御雇米人ウヰリヤム氏ニ付シ查
訂セシムルヲ以テ目次編纂シ了ラハ貴諭ニ應
スヘシト決報セリ 六月七日

第七十六號

横濱ホドソン、マルコム社中ヨリ本省五等出
仕立嘉度へ書ヲ致シテ曰ク貴諭ヲ奉シマルシ
ース、ユールス、テフ、ブツク、キーピ全バンク、ブ
ツク、キーピング、エント、ジヨ井ントス、ソク、エ
ツカウント各一冊定價洋銀九弗四拾セント計
筭表及ヒ郵送消費受領書等併セテ緘呈ス尚法
律字書ノ如キハ後一年間ニシテ發行ノ期アラ
ン其期ヲ愆ラス必ス回致スヘシトノ報アリ 六月八日

第七十七號

類別編纂スル文書編纂簿書兩課ニ於テ日次出納授受ノ際交叉散逸ノ患ナキ能ハス依テ簿記鈐印ノ定則及ヒ文簡ノ原書ハ總テ貸借ヲ許サ、ルノ本條アルニ據リ副本未整備セサルノ間原書閱覽所ヲ署内ニ設ケ諸官省并寮局課ノ需用ニ供スルノ方法等六節ヲ具シ假規則第十五款ヲ改正シ且ツ本條例入倉許可ノ証ヲ携帶スル則テ簡便ニスルノ規程ヲ増補セント寮頭ニ呈稟ス乃チ可シテ之ヲ施行セシム

六月十日

第七十八號

本寮蔵置ノ洋籍タルヤ調理整頓ノ任ヲ米人ヲ并リヤム氏ニ委スルヲ以テ日来同氏之ヲ整頓專掌セリ然ルニ同氏本課ニ陳述シテ曰ク一般辞書ニ係ルモノハ諸寮局ノ需要ニ應シ全ク送了スハキヲ以テ調理スルニ及ハスト少輔ヨリ直ニ示諭ヲ蒙ル依テ諛書ハ之ヲ度外ニ措キ疾ク其寮局へ交授スヘシト然レ氏本課ニ於テ未ク其確タル命令ヲ得サルヲ以テ依然之ヲ蔵置保管セリ今日ヨリ以来一ニ同氏ノ陳白ニ隨フ

ハキヤ且洋書ハ出納ヲ嚴禁セルヲ以テ往々諸
寮局ノ需用ヲ峻拒ス然ルヲ先回少輔ノ命ニ託
シ同氏濫ニ之ヲ提出セシ丁アリ固ヨリ同氏調
理ノ際ニ係ルヲ以テ全其專掌ニ委置シ諛課之
ヲ推糾スルノ權ナク手ヲ袖ニシテ傍觀シ敢テ
短啄ヲ容ル、ヲ得ス書籍管守ノ任責ヲ負擔セ
ル職掌ニ於テ深ク恐ル、所アリ請フ自今其洋
籍ニ係ル者ハ本省其他寮局ヨリ需要ノ照會ア
ル丁ナク且ツ諛課ニ於テモ亦敢テ関涉セス以
テ他日授受納收ノ區域判然スルノ期ヲ俟タシ

宜ク之ヲ評定セヨ若シ貸借取捨ノ處置ハ渾テ
同氏ノ指揮ヲ遵行スヘク現物出納ノ検査ハ猶
ホ舊ニ依ルヘシトセハ毎次必ス上局下命ノ証
ヲ同氏ニ付與シ本課ハ此証ニ據テ之ヲ提掌セ
ン或ハ又其証徴ノ有無ヲ論セス唯同氏ノ指揮
ニ之レ從フヲ是トセハ他日錯亂散逸ノ丁アリ
トモ本課其責ニ任セサルノ命ヲ得ン抑奉議ノ
係ル所事小ナリト雖モ當務ノ方向ニ在リテ即
今躡蹻スル所ナリ速ニ裁決ヲ乞フト寮頭ニ稟
白ス於是該書ハウヰリヤム氏ヨリ調理スヘキ

銘書ヲ以テ之ヲ送致シ而ル後本課ノ擔當タル
ヘシト指令アリ 六月二
十三日

第七十九號

統計寮ヨリ本寮ニ蔵置スル所ノウエブストル
氏大辞書外若干部ハ統計須要ノ書ニシテ貸閱
ノミニテハ其用ヲ果タサス更ニ當寮蔵書ニ備
フルヲ本省ニ稟申シ其裁可ヲ得宜ク回送ス
ヘシト商議アリ乃チ特ニ之ヲ送致セリ 六月二
十五日

第八十號

紙幣寮ヨリ別記ス洋籍ハ銀行學查考要需ノ書

ナルヲ以テ當寮へ蔵置ヲ乞フト本省ニ稟申シ
其裁可ヲ得宜ク回送スヘシト商議アリ乃チ特
ニ之ヲ送致セリ 六月二
十五日

第八十一號

史官ノ命アリ曰ク本年四月七日ノ令達ニ附属
セル東京府消防費金減額布令ノ副本一回調理
ヲ遂ントス姑ク返還スヘシト然レ氏今回簿書
保存ノ規則ヲ改定シ一切原書ニ係ルモノハ總
テ貸借ヲ許サス中ニ就テ命令書ノ如キハ一層
之ヲ鄭重ニス故ニ例ヲ毀テ命ニ應スルヲ得ス



若シ副本ニテ善トセハ速ニ製成上呈スヘシト

報答セリ 七月三日

第八十二號

諸寮課ニ於テ提掌ノ諸証書類前例鳥ノ子紙或ハ程村紙ヲ常用セリ然ルニ其事徒ニ華飾冗費ニ庶幾ク且往々綴本ノ不便ニ苦ムヲ聞ク目今幸ニ用度課ニ數多貯蔵セル西ノ内紙ノ在ルアリ以往之ヲ以テ使用ニ充テ諸領收書及上納ノ証書且計表ノ類ト雖モ碍障ナキモノハ等シク同紙ヲ用ユルヲ向來ノ例規ト為シテ可ナラ

ニ若シ裁可ヲ得ハ諸寮課ニ達ヲ乞フト卿ニ稟白ス乃チ候スル所ノ如ク裁令アリ 七月五日

第八十三號

勸業寮ヨリ來議ス明治五年十月中交付スル所ノ洋籍及寫字器械ノ内洋籍ハ既ニ交付アリト雖モ寫字器械ハ未タレ請フ速ニ回致セヨト乃其議ニ應シ交付セリ 七月七日

第八十四號

統計寮ニ於テ傳票原書ノ内須要ニ係ルモノ多キヲ以テ同寮官員早參晚退シテ閱覽所ニ於テ

之ヲ謄寫セリ然ルニ近日正午十二時ヲ期シ放
 衙ノ令アリ諛時ニ至リ原書ヲ還收セハ事務ノ
 淹滯ヲ生ス依テ日次終寫第五時ヲ期セントス
 敢テ特許ヲ乞フト同寮官員ヨリ陳白セリ其陳
 スル所止ムヲ得サルノ事故アルヲ以テ原書貸
 收ノ仮規程ヲ假定シ之ヲ寮頭ニ稟候ス乃チ之
 ヲ可ス七月十日

第八十五號

史官及其他ヨリ既往事蹟搜索ノ照會アルニ方
 リ悉ク舊規ニ據ル片ハ探求應酬ノ順叙ニ於テ

煩勞多シ因テ規程ヲ假設シ尚ホ實地履行ニ隨
 ヒ不可ナルモノアラハ加刑宜ヲ得セシメント
 搜索假規程七款ヲ草シテ寮頭ニ稟候ス乃チ之
 ヲ可ス七月二十七日

第八十六號

紙幣寮ヨリ本年三月白スル所ノ洋籍東京書肆
 ニ賣本ナキヲ以テ候向ヲ經横濱七十三番マル
 コルム、ホドソン社中ニ命シ其本國ニ購求セシ
 ム後三閱月ニシテ列紙書目之畧本省外國往復掛
 ヲ經由シ船送ノ告ケアリ故ニ同寮ニ回附シ以

テ受領ノ証ヲ得ン_レヲ商議セリ 八月十三日

第八十七號

本年六月二日ノ達令ニ基キ本課ノ事務ヲ分任
擔當セリ然ルニ順序ノ節目未_レ齊整セズ處理
ノ際動モスレハ制限ヲ干冒シ自他ノ成績判然
ナラス事蹟漠然ニ歸スル者ナキヲ保セズ依テ
分掌順次ノ節目ヲ舉ケ且其月報帖ノ如キハ事
務ノ顛末成否ヲ稽徴スルノ一助タルヲ以テ其
式樣ヲ具載シ之ヲ寮頭ニ申稟ス乃チ允可アリ

八月二十七日

第八十八號

大隈蕃地事務局長官ヨリ本省蓄藏ノ洋籍書目
要用アルヲ以テ悉皆調理ヲ遂ケ捷速回送ヲ乞
フト來議アリ乃チ領承シテ遞送スヘシト復報

八月二十八日

第八十九號

史官其他官衙ヨリ本省大少丞ハ送付スル公文
一ニ上司ノ覽ニ供シ檢印ヲ乞ヒ然ル後其主任
ハ付與スルノ由至當ナラサルニ非スト雖モ事
或ハ繁劇ニ涉リ多少淹滯ヲ生ス依テ金穀ニ関



係セサルモノハ細大輕重ヲ鑑別シ上局ノ檢閲
ヲ經ス直ニ主任諸寮課ハ交付スルヲ則トセリ
然ルニ今回各課改定ノ際尚前規ニ照準セント
ノ稟候裁定アリタリト往復課ヨリ報道セリ依
テ以後簿書及ヒ刊行事務ニ係ル談文書ヲ同課
ヨリ回付スルアラハ寮頭若クハ課長ノ檢印ヲ
乞ヒ稟分方法ノ立案ヲ付シ決裁ヲ仰キ可ナラ
ニヤト之ヲ卿ニ稟候ス乃チ候スル所ノ如ク裁
令アリ 九月十五日

第九十號

新クニ編纂裝釘セル簿冊次ヲ以テ之ヲ本課ニ
收入セリ依テ先ツ搜索查合便宜ノ方法ヲ設為
セサル可ラス乃チ五行ヲ以テ歲入出ヲ五部ニ
配シ甲乙ヲ以テ別類ヲ分チ每冊之レカ簽記ヲ
施シ部門ノ類別ヲシテ一目瞭然タラシメ其冊
子順序ノ如キハ假ニ附箋ヲ用ヒ他日既往原書
編纂卒業ニ至ルヲ待チ新舊一貫ノ番號ヲ記注
スヘシト簽識ノ模式ヲ圖シテ寮頭ニ候ス乃チ
之ヲ決可ス 九月十七日

第九十一號

第九十一號

第九十一號

編纂課ニ於テ管掌セル編纂未調ノ書類日次本
 課へ送致スルノ例規タリ然ルニ西課懸隔セル
 ヲ以テ一ニ規程ヲ遵行シ難キモノアリ依テ兩
 課保管ノ任ヲ區別スルノ條ヲ簿書提掌假規則
 中ニ追加シ他日兩課衙署接近セハ必ス前規ニ
 據ラント其款ヲ具シテ寮頭ニ稟請ス乃チ之ヲ
 可ス九月二十八日

第九十二號

曩者各寮へ蔵置セル諸回議原書類總テ當寮へ
 送致スヘキノ命アリ然ルニ率子須要ニ係ルニ

託シ于今送回セズ頃日以還史官ヨリ屢既往ノ
 事蹟搜索ノ照會アリト雖モ諸寮所蔵ノ書タル
 モノ並乎何ノ文簡アルヲ知ラス到底調理ノ支
 障少シトセス若シ其書目ヲ得ハ其寮ニ就テ討
 索シ以テ其便ヲ得ヘキナリ請フ諸寮所蔵ノ回
 議原書類須要ニ係ルモノハ先ツ書目ノミ本寮
 へ送致スヘシト命旨アラシク卿ニ稟候ス乃
 チ其令アリ十月十五日

第九十三號

第一庫階上ニ蔵置セル洋籍類既ニ本省へ送付



了スルヲ以テ新規編纂装釘ノ簿冊ヲ詠所ニ納
置シ段套臚列ノ位置及ヒ查合ノ模式ヲ假設シ
簿書提掌假規則中第三第五ノ兩款ヲ改定セン
ト察頭ニ稟申ス乃チ之ヲ可ス
七月十日

第九十四號

本寮所管ノ倉庫ハ圖治為政ノ原據トスル會計
緊要ノ記録ヲ收藏ス最モ注意保護セスンハア
ルハカラス况ンヤ時下風寒水涸ノ候虞備專慮
スヘキナリ是ニ於テ土封ノ器消防ノ具及ヒ豫
警ノ丁夫ニ至ルマテ周密調整ヲ請フト卿ニ稟

申ス乃チ用度課へ達令セリ
十月十七日

第九十五號

地理寮ヨリ別紙甲号一号之畧ヲ以テ小倉縣下企
救郡篠崎蟹喰新邸地去壬申年間本省ニ於テ詠
縣士族及ヒ渴望ノ輩ニ賣付スルノ決議書且各
員精細簿記ト俱ニ借閱照會ヲ乞フト雖モ原ト
勸農寮ノ一轄部ニシテ嚮キニ内務省へ交付セ
リ宜ク就テ之ヲ確查セヨ本寮現在ノ群書搜索
遺スナシト雖モ終ニ関係ノ文書アルナシ依テ
別紙ノ雙筒ヲ返却スト回答セリ
十一月十四日

第九十六號

寮頭ニ白シテ曰ク曩ニ本課事務ノ分掌四科ニ
 分チ以テ業務ノ順序ヲ節目シ各科擔當ヲ命ス
 卜雖モ實際履行ノ後尚之ヲ熟慮スルニ第一二
 ノ兩科タル譬ハハ猶事ヲ露霜ノ間ニ執リ職ヲ
 萩蘆ノ内ニ奉スルカ如ク業務互ニ相聯絡ス分
 科ハ還テ煩劇ヲ醸シ未夕其可ヲ知ル可ラス故
 ニ將來一二ノ兩科ヲ併セ以テ第一科トナシ前
 ノ三科ヲ二科ニ進メ四科ヲ三科ト為シ而シテ
 向キニ稟候ノ事務順序モ亦此例ニ據準スヘシ

簡易ノ便ヲ執ルニ足ラント書款ヲ具シ之ヲ上
 候セリ十一月十三日

第九十七號

本課第三科刊行事務假規則決可スルニヨリ
 務順序別冊別冊刊行業務順序第一條ニ起リ如
 リ別冊刊行業務順序第一條ニ起リ如ク
 設置ヲ乞フト上候セリ十一月十五日

第九十八號

今回達令ニ據リ洋文新聞紙ノ類備外國人等ハ
 送致ノ時ニ際シ錯雜ノ書ヲ調檢セシムルニ和
 文洋書緊要ニ屬スヘキ原書無シトセス因テ取



捨ヲ編纂課ニ託シ後來ノ便ニ供セント稟候ヒ

リ十一月十七日

第九十九號

各寮回議原書本寮へ送致セサルモ、書目調査
回送ノ了本省ヨリ豫テ布達スト雖モ未ク其事
ヲ果サ、ルモノ多シ本寮頗ル往事ノ書冊散佚
ヲ顧慮ス宜シク直ニ調辦以テ回致ヲ欲スト各
寮ニ商議セリ十一月十八日
第百號

理財課議案掛ヨリ來議シテ曰ク曩者明治二年

冬十一月命ヲ神祇官ニ下シ鎮魂祭ヲ舉ルニ當

リ俊政坊城氏辨官在職タル時諸品奉備ノ祭具高

田茂へ調進セシム近日頻リニ其價ヲ支給セン

ト乞フ然レ氏此事濟否如何ヲ知ラス年月ノ久

シキ茫乎トシテ尋又可ラス加之辨官衙署舞馬

ノ災ニ罹リ記録灰燼ニテ搜索ノ便ヲ絶ス且頃

日坊城式部頭ヨリ前項ニ係ル文書ヲ索需セン

ト乞フ此等ノ書即チ當時大少録往復留記我寮

ニ存録アリヤ回報ヲ乞フト依テ之ヲ本寮ノ庫

中ニ求ムルニ其文書ヲ得ス即アラサル旨ヲ申



報セリ 十一月二十七日

第百一號

省中各課ノ原書ヲ蒐輯シ之ヲ管守保存スルハ
 固ヨリ本寮ノ任責ニシテ本課ハ編纂課ト俱ニ
 其事務ヲ分掌ス然リ而シテ戊辰以降堆積ノ原
 書錯雜混淆收ム可ラサルニ至リ頃口編纂課ニ
 於テ編纂ニ着手ストイハ氏日又足ラステ竣
 功ヲ奏スルヲ得ス且諸寮留存ノ文書本寮ニ送
 付セサルモノ亦太少多シ嚮者本省ノ達ニ據レ
 ハ漸次送換アリト為スモ各寮平日須用ノ書ニ

於テハ副本謄寫ノ時間モ亦之ヲ人ニ付スルヲ
 慚トセス已ニ其情斯ノ如クナレハ頻リニ徴收
 ヲ督促スト雖モ其驗功ヲ得スシテ省中原書ノ
 總數ヲ夕モ未夕之ヲ詳悉セス試ニ之ヲ概算ス
 ルニ千有餘冊ニ下ラサルヘシ且編纂課ニ既往
 書類編纂ノ着手アリト雖モ其原書盡ク本課ニ
 完カラサルヲ以テ首尾顛末ノ不整アルモ之ヲ
 搜索スルニ便ナシ本課亦猶院省諸寮必用ノ需
 ニ應シ難ク兩課交々往事ノ探求ニ苦シ竣功
 ノ端緒ヲ得ル能ハス若シ今ニシテ之ヲ計ラサ



レハ改正ノ功ヲ減スヘシ抑是他ナシ紊亂ノ原
書ヲ蒐輯セサルニ出ツ因テ自今既往原書ノ蒐
輯及テ副本ノ謄寫總テ本課ニ之ヲ擔任シ蒐輯
ノ法ヲ盡シ而シテ編纂課ニ於テハ務メテ編纂
ノ事ニ着手セハ兩課ノ便宜ヲ執リ兼テ簿書保
存ノ道確然トシテ立チ本寮改正ノ實効顯然ト
シテ明ラカナルニ至ラン幸ヒニ許可アルアラ
ハ本課ヨリ各寮ニ就テ原書ノ有無及ヒ多寡ヲ
檢討シ之ヲ其主任ト謀リ送付スヘキハ之ヲ受
領シ得ハカラサルモノハ其課中ニ於テ謄寫校

正シ原書ト之ヲ交換セシム將夕從來編纂課ニ
送付セシ文書中謄寫未成ナルハ本課ニ受テ副
本謄寫ノ一部ニ供セントス即チ其概數ニ應シ
人員ノ多寡ヲ取り謄寫卒業ノ目途ヲ定ム依テ
蒐輯準序ヲ製ス其第一ニ各寮留存ノ書目及冊
數ヲ詳知シ人負ヲ豫定シテ謄寫竣功ノ期ヲ定
ム第二各寮ノ便宜ヲ謀リ其寮ニ派出シ原書ヲ
本寮ニ收受シ緩急次序ヲ定メ寫程ヲ嚴ニス第
三各寮ニ派出スルハ留存原書尤モ多キヲ先ニ
シ副本ヲ製シ其原書ヲ收入スルハ其樞要ナル

者ヲ先ニス第四年月ノ順序ハ本年五月ヨリ漸
次既往ニ溯リ其令ニ近キ者ヲ先ニシ蒐輯シ以
テ編纂ノ便ニ供ス第五各寮ヨリ送付スル原書
ハ分割シテ謄寫校正シ記録頭ノ檢印ヲ乞ヒ副
本ヲ送致スルヲ總テ編纂課ノ順序ニ照依ス第
六各寮各課ニ就テ日用原書ヲ謄寫スルハ其人
員ニ分割シ一日或ハ兩日ニシテ一簿冊ヲ竣功
スルヲ要ス竣功ニ至レハ校正ノ員又派出シ之
ヲ校正シテ原書ト併セテ本課ニ携致シ課長ノ
一閱ヲ經テ記録頭ノ檢印ヲ乞ヒ副本ヲ送致シ

原書ヲ倉中ニ收ム又別ニ竣功概積ヲ作テ其功
蹟ヲ計ス原書千卷此紙數三十萬枚謄寫人負一
萬八千七百五十人ニシテ成功日數百八十
七日半トス而シテ即今編纂第一科中謄寫校正
ノ員本課へ移轉スヘキノ令ヲ得シ若夫レ謄寫
校正ニ謬誤アラハ課長以下主任ノ專責ニ當ス
ルヲ以テ課長ノ檢印ヲ捺定スヘシト稟白セリ
乃チ批シテ本議ヲ試行セシム
三十二日

第百二號

本年自五月至十二月本課へ領收スル回議原書

及諸簿冊合數左ノ如シ

一 二千五百三十二冊

一 六百四十五括

一 四百九十五葉

一 八帙

本年自五月至十二月本課ニ於テ管理スル所ノ各種新規刊行印刷共舊版印刷及發賣標目負數左ニ録ス

一 洋籍借與証牌

一 橫文件名簿系紙

一 計表系紙

一 各月物價表

一 府縣申牒比較表

一 証券印稅規則

一 証券印稅取扱心得

一 証券印稅規則表

一 改正活版前同断

一 証券印紙系紙元拂共收稅計筭表

一 証券印紙系紙收稅計筭表

一 証券印紙系紙受拂日締帳用紙

課狀

裁

省

- 一 証券印紙賣捌拂出切符
- 一 証券印紙拂出切手用紙
- 一 收稅受取書用紙
- 一 証券印紙賣捌手數料支給切符
- 一 宮城縣管下 陸前 磐城國新舊稅額比較表
- 一 諸印紙拂出切符
- 一 收稅計表
- 一 出納月報系紙
- 一 各港輸出入物品表
- 一 出納察切符

- 一 當用準備出納簿畧紙
- 一 準備金出納貸借部類計簿
- 一 明治年貸出金穀及調達出納表
- 一 請取書証
- 一 預米金差列表系紙
- 一 第一國立銀行預り金出納受渡切符
- 一 各課月計表
- 一 米穀納拂總計差列表系紙
- 一 當用金穀日々出納計表
- 一 納金本納切符

- 一 假納金切符
- 一 納切符
- 一 傳票用紙
- 一 舊金銀貨幣價格表
- 一 國債一覽表
- 一 雷紋梓振出切符
- 一 國債察件名簿系紙
- 一 舊藩負債一覽表
- 一 金札引換公債証書利子受渡切符
- 一 雷紋形假証切符

- 一 紙西洋版各廳經費精算表
- 一 紙西內版各廳經費精算表
- 一 証書取扱扣帳系紙
- 一 入倉許可証券
- 一 編纂用受付件名簿系紙
- 一 簿書課用受付件名簿用紙
- 一 雜務課用受付件名簿用紙
- 一 洋書番号紙
- 一 編纂部門一覽表
- 一 編纂課橫文掛謄寫用系紙
- 一 簿冊標題輪郭

- 一 乙卯月報帖系紙
- 一 門部類月報考課狀用系紙
- 一 簿書課用商人呼出
- 一 簿書課用件名簿系紙
- 一 明治年月刊行查計表
- 一 同常用系紙查計表
- 一 舊藩旗下製造紙幣并準備金一覽表
- 一 官省札其外請拂帳
- 一 肉製配合登記系紙
- 一 紙幣察商人渡手形

- 一 差列表系紙
- 一 詳細書系紙
- 一 新紙幣用割印系紙
- 一 回檢名簿系紙
- 一 諸紙幣其外倉庫出納日報表
- 一 改正証券界紙
- 一 大藏省府縣受付簡明表
- 一 造幣寮首長第三週年報告表
- 一 自七月本布達府縣達共九十七件
至十二月
- 一 改正局別報自第一号至第七号七件

- 一 改正局日報 自第一号至第二号 二件
- 一 各種紙幣損札交換規則
- 一 各種紙幣損換之分處換規則書
- 一 租稅總計增減仕譯書
- 一 甲五号活版用系紙
- 一 乙四号同系紙
- 一 省中回達宛名刷物
- 一 本省外國往復掛回議件銘簿罽紙
- 一 外國往復掛用 海外金屬表
- 一 洋籍借覽証書

- 一 度量衡書類配達負數記
- 一 新器度量衡賣場高計筭表
- 一 新器度量衡檢查負數計筭表
- 一 舊器度量衡檢查負數計筭表
- 一 株式取引條例
- 一 簿書出入表
- 一 大藏省布達及府縣物價表配賦一覽表
- 一 接受發遣概表
- 一 府縣受付簡明表
- 一 未定品準備金數出納月計突合表



一官省使廳府縣渡金月限概算差列表

一第一照查課用甲系紙

一同乙系紙

一書翰紙

一洋紙封筒

以上二百種

此印刷合數五百七十四萬。五百八十六枚十

一萬三千一百十八部一百二十六帖一百九十

冊

舊版印刷合數十四萬五千四百三十六枚一千

一百二十九部四萬五千二百八十帖一百八十

三冊 改刺二十三種

發賣合計一千六百三十部

以上通計表ヲ具シテ之ヲ報告ス

雜務課

五月十九日ヨリ
十二月廿日ニ至ル

第百三號

本寮諸官員疾病及轉免ノ際或ハ其事務ノ扞格

錯乱セシムル恐ル依テ其事務引繼規則第十條ヲ

設ケ之ヲ寮頭ニ申白ス乃其白スル所ノ如ク之

ヲ許可シ寮中ニ達セリ

五月十九日



第四百四號

本寮所用ノ諸器具支度ノ例規ハ今回ノ新定規
 則ニ憑據スヘキハ固ナリ然ルニ各課中既ニ備
 具スル諸品ノ内ニハ辛未壬申以前ノ物アリ或
 ハ癸酉以後ノ品アリ當初草創ノ餘用度供給ノ
 順序未夕之ヲ調整スルニ違アラサルヲ以テ嘗
 テ之ヲ製造スル時日及ヒ之ヲ授受スル始末ヲ
 録スル牒簿阙乏ニシテ不備ノ者居多ナリ故ニ
 其品ノ數ト類トヲ徴スルニ由ナシ今將サニ之
 ヲ追整セントスルニ方リテ先ツ其順序ヲ定メ

着手スルヲ以テ各課所用ノ諸器每類負數仕譯
 書ヲ製シ調査ノ負檢印ヲ以テ之ヲ証シ本課ニ
 報知セシメ自後紛雜ヲ防クノ基ニ充テント之
 ヲ寮頭ニ申稟ス乃チ之ヲ可ス
五月二
十七日

第四百五號

本省本年ノ費額ヲ定ムルヲ以テ各寮課所用ノ
 諸器具等之ヲ新調スル件ハ卿輔ノ決裁ヲ經テ
 用度課ニ達スヘキハ去ル二月十日本省往復第
 八十八号ヲ以テ各寮課ニ令セリ然リ而シテ所
 謂新調トハ嘗テ豫備ノ為メ調製スル普通物品



ヲ除キ單人ニ新製スルニ係ル者ヲ以テ新調ト
稱シテ可ナランヤ抑印信等ハ假令其字面異ナ
リト雖モ普通需用ノ物ナリ故ニ亦通例ノ定價
アルヲ以テ從來改刻或ハ新鑄ノ者ト雖モ專ラ
寮頭ノ決ヲ取り之ヲ用度課ニ達スルヲ以テ則
トシ支障ナカルヘシト之ヲ卿ニ呈稟ス乃テ裁
可ス五月九日

第百六號

本月十一日ヨリ九月十日ニ至ルノ日ヲ以テ三
十日間休暇ヲ賜給アルノ恩命アリ依テ本寮事

務緩急ヲ量リ賜休各員十五日間ト為シ各課必
三四名ヲ以テ交番ヲ定メシム其賜休割日別記
畧順序ニ隨フヘシ倉庫監吏ノ如キハ關負スヘ
カラサルヲ以テ賜休ヲ允サスト上申セリ七月八日
第百七號

横濱東洋銀行幹事カムソシノ來書ニ今ヨリ以
前二ヶ年間に貴國政府ノ為本地及ヒ倫敦ニ於テ
數兌換セシ金額別紙計美
細目畧之四百五拾六弗拾五セ
シト本月ヲ出ス受領セシヨ本省ニ白ス千七百七
月十三年八月依テ之ヲ調査スルニ倫敦ヨリノ電



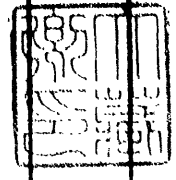
信料吉田少輔ヨリ来ルモノ亦疑ヒアルヲ見ス
ト雖モウヰキリイ英モンスリイ、レポルト及
アライス、ユルレント書籍ニ係ルモノ誤違ナキ
ヲ保セス故ニ尚同銀行ニ就テ今一回商量調檢
セシメント欲ス而シテ本年已ニ餘リナリ本省
ノ出納ハ本日ヲ限ルノ程規アリト雖モ同銀行
ハ洋人ニ係ルヲ以テ再應商議ヲ遂ケ再ニ申白
セハ速ニ兌換ノ金額交付アラシムヲ乞フト御
ニ上候セリ 十二月二十日

記録頭遠藤謹助



明治九年三月

大藏卿大隈重信



大隈

大藏省